

外来診療体制表

			月	火	水	木	金	土
内科	午前	当日受付①	鷲見 順教	伊壺 友希	平林 直章 (第1・3・4・5週)	横川 清	吉長 恒明 (第1・3・5週) 湯澤 千波 (第2・4週)	交代制
		当日受付②	吉見 大輔	吉見 大輔	前澤 浩(第2週)	八木 ひかる	八木 ひかる	
		当日受付③	小林 奈津子 (消化器内科)	牧内 雅信(11時迄) (循環器内科)	小平 睦月 (循環器内科)	原 悠太 (腎臓内科)	塚平 俊久 (消化器内科)	
		当日受付④	牛山 雅夫(11時迄) (脳神経内科)					
	午後	予約診療		平林 直章	北原 明倫	北原 明倫	伊壺 友希 鷲見 順教	
		予約診療	伊壺 友希		北原 明倫		八木 ひかる 北原 明倫	
		予約診療			塚平 俊久(第3週) 清水 信明(第3週)			
循環器	午前	予約診療	小平 睦月 (第1・5週)	牧内 雅信 小平 睦月	牧内 雅信	牧内 雅信 小平睦月(第2・4週)	牧内 雅信	清水 信明(第4週)
	午後	予約診療			清水 信明 (第1・2・4・5週)			
消化器内科	午前	予約診療	塚平 俊久	関口 恭弘	塚平 俊久 関口 恭弘	塚平 俊久 小林 奈津子 関口 恭弘		塚平 俊久(第4週)
	午後	予約診療			塚平 俊久			
脳神経内科	午前	予約診療			牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫(月1回)
	午後	予約診療	牛山 雅夫 吉見 大輔					
呼吸器内科	午前	予約診療						八木 ひかる(月2回)
	午後	予約診療			前澤 浩			
腎・内分泌	午前	予約診療	熊谷 悦子				原 悠太 横田 昌 (第1・2・4・5週)	熊谷 悦子(第1週)
	午後	予約診療	熊谷 悦子(DM) (第2・3・4・5週) 原 悠太(第1・3週)	熊谷 悦子 (CAPD)第1・3週 (HDD)第2・4週	熊谷 悦子 (第1・2・3・5週は CKD外来あり)			
嚥下外来	午後	予約診療		福村 直毅				
整形外科	午前	予約診療	平林 直章					
もの忘れ	午前	予約診療	北原 正和(第2・3・4週)		牛山 雅夫			
	午後	予約診療						
精神科	午前	予約診療			服部 美秀			服部 美秀(月1回)
	午後	予約診療			服部 美秀			
	夕方	予約診療			服部 美秀			
脳神経外科	午前	予約診療		北原 正和		北原 正和(第1・3・5週)	北原 正和	
	午後	予約診療		北原 正和	前澤 浩	北原 正和		
外科	午前	当日受付	本田 晴康	赤澤 智之	交代制	津澤 豊一	津澤 豊一	休診
		予約診療	本田 晴康	本田 晴康 赤澤 智之	林 誠一(振動病) (第1・2・3・4週)	津澤 豊一	赤澤 智之 (第1・2・4・5週) 津澤 豊一	本田 晴康(第3週)
	午後	予約診療		熊谷 嘉隆(第5週)		熊谷 嘉隆		
乳腺	午後	予約診療	本田 晴康(第3、偶数月) 赤澤 智之(第3、奇数月)					
肛門外来	午後	予約診療					本田 晴康(第2・4週)	
泌尿器科	午前	当日受付	熊崎 匠	熊崎 匠		熊崎 匠	熊崎 匠	熊崎 匠(第2・4週)
形成外科	午前	予約診療	矢高 森人				矢高 森人	
	午後	予約診療		矢高 森人	矢高 森人			
小児科	午前		和田 浩 品川 文乃	和田 浩 品川 文乃	品川 文乃	和田浩 鈴木直美/光武鮎 (交代制)	和田 浩 品川 文乃	和田 浩 (予約のみ)月2回
	午後			和田 浩 品川 文乃	和田 浩 品川 文乃	和田 浩 品川 文乃		
	夕方		和田 浩				和田 浩	
禁煙外来	午前	予約診療				八木 ひかる		

No.13

2023年

秋号

KENWAKAI
HOSPITAL
MAGAZINE
2023年9月発行

ゆめかなえ

健和会病院 広報誌

塚平新院長誕生

院長就任インタビュー

医療職を目指す学生のサポート

学生担当の紹介
先輩奨学生のインタビュー

吉見医師着任

脳神経内科



社会医療法人 健和会
健和会病院
KENWAKAI

〒395-8522

長野県飯田市鼎中平1936

病院 受付

TEL.0265-23-3115

FAX.0265-23-3129

地域連携室

TEL.0265-23-3269

FAX.0265-23-3198

塚平俊久医師 院長就任インタビュー

自分が患者さんの立場だったらしてほしいことを

—今年度から院長に就任しました。抱負をお願いします。

私たちには、時間をかけてみんなで作り上げた目標があります。それは当院の方針や、さらには民医連^(注)の綱領という形になっているわけですが、その方針・目標を実現するために最善を尽くしたいです。

私は、医療人として、この場面だったら『自分ならこうしてほしい』ということ、いつでも患者さんにしたいと思っています。40年医者をやってきた自分が患者さんの立場だったらしてほしいと思うことは、きっと患者さんのメリットになるという思いで日々接しています。煩雑で手間がかかることもありますが、今までも手間を惜しまずにやってきました。個人としてはそういう姿勢を続けていきたいと思います。院長としても、職員全員がそういう思いで患者さんに接してくれればうれしいと思っています。

注)全日本民主医療機関連合会：無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす全国組織。142病院や2000を超える介護事業所が加盟している。

在宅医療のニーズに応えていきたい

—健和会病院の診療・運営の特徴は？

当院の診療の特徴は、子どもからお年寄りまで診る体制を持っていることです。また最先端の入院診療を受けていただいた後に在宅での治療を希望される方は、退院に向けての回復期リハビリ病棟や地域包括ケア病棟を経て、訪問診療で最期までずっと診させていただきます。この間に担当医は変わることがありますが、同じ医局で毎日顔を合わせる関係なので医師同士の連絡はとても密にできています。今後高齢者が増えてくるなかで、通院が困難になった時など、在宅で安心して診療を受けられる医療は必然的にニーズが増加します。急性期からリハビリ・慢性

期医療を堅持しながら、在宅医療を推進していきたいと考えています。

「先生は喘息で入院している患者の胸の音を聴かないのですか？」

—患者さんと信頼関係を築くために心がけていることは？

先程も申しましたが、常に「自分だったら、自分の家族だったらこうしてほしいのでは？」という思いを一つ一つの場面で心掛けています。一年目の研修医時代の経験がここに導いてくれました。

喘息で入院した患者さんが改善して退院許可を出したところ、入院保険の日数が足りないので入院を延期してほしいとせがまれました。のんびりした時代でしたので指導医の了解を得て許可しました。退院当日に挨拶に行って「お大事に」と言って帰ろうとすると患者さんから「先生は、喘息で入院している患者の胸の音を聴かないのですか？」と言われました。もちろんそれまでは土日も含め毎日回診して聴診していましたが、延長後はお話を伺うだけで聴診まではしませんでした。患者さんとしては入院している間は胸の音も聴いてもらいたかったという思いがあるということです。私には入院延長の希望をかなえてあげたのにという思いがある一方、患者さんと医師との思いに時としてこんなにも大きな隔たりがあることを思い知らされました。その驚きは40年近く経った今でもありありと思い出されます。

素直に受け入れられる研修医時代にこのようなエピソードを経験出来たことはとてもありがたかったと思っています。またこの患者さんは不満を口にしてくれましたが、思いをしまい込んでしまう方が多いのでは、とこの時感じたことで、表出されない思いを少しでも感じ取ろうとする姿勢を続けるきっかけになりました。現在の私が、実際にどの程度そうしたことが出来ているかは自信がありませんが。

NHPHとの出会い

—NHPH(*non-Helicobacter pylori Helicobacter*)の研究で、第22回日本ヘリコバクター学会で上原H.*pylori*賞、第28回同学会では優秀賞を受賞され、英語論文も積極的に出されていますよね。

NHPHとは「ピロリ菌以外のヒトの胃に感染するヘリコバクター属細菌」のことです。無症状のこともあります。胃炎の原因になることもあります。十数年前ですが、ピロリ菌除菌後の患者さんに、定期検査の胃カメラを行ったんです。胃がただれていて、胃の組織を調べた当院病理医の林先生から「ピロリ菌がいます」と言われたのですが、私は除菌判定に自信があったので「ピロリ菌は絶対いないはずです」と言いました。「では、この菌は何だろう」ということになり、信州大学の病理で調べてもらったところNHPHであることがわかったのです。私もその時に初めてNHPHという菌を知りました。

当時NHPHの感染率が0.3%と報告されていました。もう、この菌に次に会うことはないと思っていたら、あっという間に100例近くになりました。一施設の数としては圧倒的に日本一です。実は飯田市にNHPHの感染が多かったんです。NHPHの研究で全国数か所を200人ずつ調べたところ、飯伊地域以外は1%前後だったのですが、飯伊地域は7%の感染率でした。自分がNHPHと出会って症例を次々に見つけられたのは、林先生と信州大学のおかげではあるのですが、飯田市でなかったら、このようには見つけられなかったですし、ここまでの研究には至らなかったと思います。

—飯田市にNHPHが多いのはどうしてですか？

豚肉です！ NHPHのひとつで日本では大部分を占める*Helicobacter suis*のsuisは「豚」という意味です。豚肉にはNHPHの菌がいるから、「豚肉はしっかり焼きなさい」ということです。牛肉にはNHPHの菌はいませんので、先人はちゃんとしたことを言ってま

すよね。飯田市は「焼肉のまち」と言われていてホルモンも好きなので、NHPHの感染が多いのだと思います。とにかく、豚はしっかり焼いて食べましょうね。

小児へのピロリ菌検診、いつか飯田下伊那でも実現したい

—この地域の将来のために考えていることがありましたら教えてください。

ヘリコバクター学会の中で「小児とヘリコバクター・ピロリ」のシンポジウムがあり、小児へのピロリ菌検診をいつするか？除菌はいつするか？中学生で除菌をするか？大人になってから除菌するか？等々、専門家の間では話題になっています。

長野県でもいくつかの市町村で中学生にピロリ菌検診を行っているところがあります。飯田下伊那でもやりたいと思っていますが…今は新米なので院長業務に専念し、少し先になってしまいますが、実現できたらと思っています。



つかだいら としひさ

塚平 俊久 医師

経歴

健和会病院 院長 飯田市 出身

1986年 金沢大学卒業

1988年 健和会病院入職

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医・代議員

長野県肝疾患診療連携拠点等連絡協議会委員

日本内科学会認定内科医

長く医師を続けることでわかることがある

—医師としての喜びは何ですか？

医師になった初めのころにはわからなかったけれど、長年医師をやっていると気づくということがあります。たとえば長い経験の中で、同じことを説明してもこういう言い回しだと納得してくれたとか、わかってくれたということが蓄積して、それを患者さんとの面談で活かせると、同じ病気について話したとしても患者さんの満足度や理解の仕方が違ってきます。それは特に外来では役に立ちます。大学を卒業して40年近くなると自分の専門分野以外の医学的知識は減ってしまいがちですが、長年の経験はとても大事だと思います。

趣味はテニス

—休日どのように過ごしますか？

テニスです。真冬も真夏も屋外でプレーしています。土・日と雨でテニスができないと悲しいストレスが溜まります。テニスは38歳の時に、地域のテニス教室に妻と一緒に通い始めたのがきっかけで、始めて26年くらい経ちますがテニスに出会わなかったら何していたかと思うとぞっとします。

先ほどのNHPHもほとんど趣味の域です。私の趣味に多くの職員の皆さんを付き合わせて申し訳なく思っていますが、まだ誰も知らない世界を覗いている、といった自負はあります。NHPHのデータを整理したり、論文を書いたり、発表したり…やらなくても誰からも文句も言われないことだけ…。だからやっぱり仕事でなくて趣味になりますね。

医者として患者さんに喜んでもらえるということがとてもうれしい

—先生の今後の目標・テーマは？

院長という全体に責任ある立場を引き受け、その立場にいる間は、一定、自分のことは犠牲にしても良いと思っています。

ただし医者の仕事がすごく好きで、自分が医者として診療を行い患者さんに喜んでもらえるという日々のことがとてもうれしいので、テニスをする時間やNHPH研究に使う時間が減ったとしても、医者の仕事は減らさないようにしたいと思っています。どこかでパンクしそうですが(笑)。



健和会病院 健康まつり 2023

10月22日 13:00～16:00

4年ぶりに病院内での健康まつりを企画中です！

✓医療講演 ✓健康チェック



開催の予定につきましては
ホームページをご確認ください

新任医師紹介

脳神経内科 吉見大輔医師・着任

2018年に信州大学を卒業、医師6年目になりました。松本協立病院で2年、諏訪中央病院で3年間の研修を終え、この度、着任いたしました。愛知県豊橋市出身です(飯田線の終着駅です)。早いもので長野県も大学時代からもう12年目になりました。豊かな自然や季節ごとに変化する景観は日々の癒しです。市田柿も、毎冬楽しみにしています。救急・内科診療や、神経内科、脳卒中診療等を中心に、幅広く関わっていただこうと考えています。医師としてまだまだ未熟ですが、自己研鑽を続け、日々患者さんと向き合っていきたいと思います。地域の医療に貢献できるよう尽力してまいります。皆さんご指導の程、何卒よろしくお願いいたします。



よしみ だいすけ
吉見 大輔 医師 経歴

愛知県豊橋市出身

2018年 信州大学卒業

2023年 健和会病院入職

書籍紹介

健和会病院の職員が寄稿・編集した書籍をご紹介します！

実践SDH診療—できることから始める 健康の社会的決定要因への取り組み—

2023年5月20日発行

(中外医学社)

10. 地域特性

(福留恵子) PP.199-210



医療×保健×福祉×保育×教育をつなぐ コミュニティ小児科学

診察室を出て地域と育む子どもの未来

2023年4月5日発行

(診断と治療社)

地域のがんばっている専門職や支援者と顔の見える関係をつくる(和田浩) 84-88



貧困研究 Vol.30

2023年6月30日発行

(明石書店)

特集1 貧困を可視化する保険・医療・福祉の実践
医療現場で、子どもの貧困にどう気づき、どう支援するか
(和田浩) 14-21



当院では学生担当の事務と看護師を配置することで、医療職を目指す高校生や医療系学生の応援とサポートをしています。地元の医療に興味を持ってもらい、地域に根ざした医療者を目指してもらいたい、という思いで様々な企画を行っています。企画の一部を紹介します。



飯田短大奨学生交流会(通年)

2・3カ月に1回程度、健和会病院に奨学生(当院の奨学金を利用する学生)が集まり学習や交流を行っています。先輩や後輩と学生時代にかかわることで、交流会の後は試験や授業の相談などが自然と始まります。信州大学、長野県看護大学、佐久大学、松本看護大学でも学習&交流会を行っています。



高校生医療職体験(春～夏)

毎年高校生向けに行う医療職体験です。2020年夏からはオンラインや、少人数での開催など感染対策を行いつつ、医師・看護師・薬剤師・リハビリの体験を行っています。採血や縫合、調剤の体験などの他に、交流の時間も設けて率直な疑問にも答えています。各職種の仕事が垣間見える体験です。そのほかの職種に関しても、お気軽にご相談ください。



ノウハウ講座(秋)

医学部を目指す高校生に、医学生が講師になって受験のノウハウを教える「ノウハウ講座」を年1回開催。医学部受験は情報も大事です。学校ごとに特色や、教科ごとの配点が違います。そうした受験情報のほかにも、実際に医学生から勉強法などを聞くことができ、受験の役に立つ情報が詰まっている企画です。

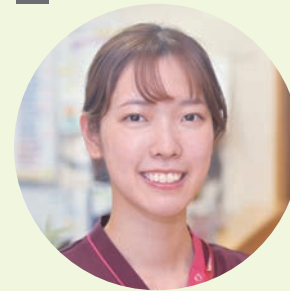


模擬面接(秋～冬)

医学部や看護学部の受験には面接試験がつきものです。当院では受験対策として模擬面接を行っています。医師や看護師が面接試験に実際に入り、より本来に近い形で練習できます。良かったところや改善点のフィードバックも行います。

医学生・看護学生・薬学生向けの奨学金制度があります。お金の貸し借りだけではなく、大学では学べない学びや、将来一緒に働く学生同士の交流も企画・運営しています。こうした学習・交流は学生自身の成長にもつながっています。

先輩奨学生インタビュー



野崎 優奈さん 2021年入職
療養病棟看護師
飯田女子短期大学卒(卒業時名称)

奨学生のときにどんなことをしましたか？

定期的に同大学の奨学生が集まる場があるので、困っていることを相談したり、先輩から学んでおいた方がいいことなどの情報をもらったりしました。OGである現役看護師も参加してくれることがあり助言をもらえました。

奨学生になって良かったことは何ですか？

奨学生同士や職員とのつながりが増えることです。就職前からのつながりを作れて、入職後も知っている人がいるので働きやすかったです。

奨学生になって印象に残っていることは？

「へき地医療フィールドワーク」です。実際にへき地へ赴き学んだりすることは、学校の講義では体験できないので新鮮でした。また普段関わることのない看護以外の医系学生との交流もできるため、いろんな立場の意見が聞けて刺激をもらえました。

奨学生になって良かったことは何ですか？

お金を借りるだけでなく奨学生のための企画があり、関係性が作れたことです。奨学生同士のつながりや病院職員とのつながりができたことは今の仕事に生きています。



相澤 未来さん 2022年入職
回復期リハビリテーション病棟
長野県看護大学卒

奨学生の時に印象に残っていることは何ですか？

「医学生のつどい」です。全国の民医連の医学生が集まり交流しました。長野県民医連の事務所を開放してもらい勉強の場として使用したり学習会を開いてもらいました。学習会後にご飯を作ってもらってみんなで食べたりもしました。ランチタイムミーティングという食事をしながらの交流会もありました。

今に生かされていることは何ですか？

仕事面で直接的には思いつきませんが、自分が奨学生だったので後輩の奨学生ができることに喜びを感じます。学生担当の方は手厚くサポートしてくれますので自分も学生の力になれるように企画協力は前向きにしていきたいです。



原 悠太さん 2020年入職
透析センター長
信州大学卒

奨学生 インターンシップ募集

奨学生の募集と合わせて、インターンシップ(実習)も随時行っています。診療や病棟などは希望に合わせたインターンシップが可能です。

興味のある方はお問い合わせください。詳しくはホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

健和会病院採用サイト

<https://www.kenwakai.or.jp/recruit/>

